

日本弁理士会主催【知的資産経営WEEK2022 第9回知的財産活用表彰】 受賞者一覧

賞名称	部門等	受賞企業・団体名	評価のポイント
知的財産活用大賞		株式会社シーエンジ	同社は三次元網状構造体に関する優れた技術を活用した事業を国内外で展開し、国内外で特許出願や商標出願を行い、グッドデザイン賞を受賞するなど、知財ミックスにより競争優位性の確立維持に努めている。また、技術調査により販路拡大を図る、ブランド戦略を構築するなど、幅広く知財活動を実践している点を総合的に評価した。
知的財産活用奨励賞	ブランド部門	株式会社Log style	昔から知られている「ニラ醤油」について「必然の」とすることで商標権を取得し、その後、「みんなの」「辛の」とシリーズ化しブランドを定着させた。さらに、インパクトのあるイラストで商標権を取得している。また廃棄していたニラの茎の活用や、コロナ禍で余剰となったニラの引受けでニラ農家を支援し、製品化に際して自社工場を立ち上げ地元雇用にも貢献している点を高く評価した。
	デザイン部門	有限会社平井製材所	支柱という製品の性質に鑑み、知財ミックスを考慮しつつ意匠に重点を置いた多面的保護が行われている。また専門家との連携体制も構築できている点が目を引く。脱プラスチックの流れの中、地場産業である林業の活性化に寄与するかたちでの知財の活用事例と言える。
	知的財産戦略部門	株式会社fcuro	事業計画に合わせた先手先手の知財戦略、競合と比較した自社の強みの分析に基づく知財戦略、医療機器承認を視野に入れた知財戦略、海外展開を見据えた知財戦略など、知財戦略全般において優れている。
特別賞		中日本カプセル株式会社	ソフトカプセルやハードカプセルといったサプリメントのOEM製造会社であり、自社ウェブサイトでは、製品毎に特許番号を明記してその技術力をアピール(例:IS-capsuleは特許第4252619号、ガムセルは6270543号、など)している。特許権だけではなく、商標権も活用して複合的な知財保護を推進しているほか、ベトナムでの事業開発を進めており、現地での特許出願も行っている。
特別賞(コロナ対応貢献)		株式会社フェクト	抗菌／抗ウイルス塗料について、その開発でコロナウイルス対応に貢献するだけでなく、販売を考慮してブランドを活用している点を評価した。特許の利活用も十分に行われており、他組織の規範となる。今後の活躍に期待したい。